

經 濟 学 部

【経済学科／経営学科】

大西祥惠	教授	122
小木曾道夫	教授	123
尾近裕幸	教授	124
尾崎麻弥子	准教授	125
尾田基	教授	126
小野正人	教授	127
木村秀史	教授	128
櫻井潤	教授	129
東海林孝一	准教授	130
杉山里枝	教授	131
高木康順	准教授	132
高橋克秀	教授	133
高橋尚子	教授	134
田原裕子	教授	135
中馬祥子	教授	136
辻和洋	准教授	137
手塚貞治	教授	138
中泉真樹	教授	139
中田有祐	准教授	140
根岸毅宏	教授	141
野村一夫	教授	142
芳賀英明	准教授	143
濱田高彰	准教授	144
林行成	教授	145
原省三	教授	146
藤山圭	准教授	147
星野広和	教授	148
細井長	教授	149
細谷圭	教授	150
水無田氣流	教授	151
宮下雄治	教授	152
山本健太	教授	153

【 職・氏名 】	教授 大西 祥恵 (ONISHI Yoshie)
【 学 位 】	博士(経済学) (2006年03月,大阪市立大学,第4809号)
【本学就任年月日】	2015年04月01日
【 略 歴 】	大阪市立大学 経済学部 卒業 大阪市立大学 大学院経済学研究科 前期博士課程 修了 大阪市立大学 大学院経済学研究科 後期博士課程 修了
【 研究分野 】	労働経済、社会政策
【 所属学会 】	社会政策学会, 日本労働社会学会, 日本解放社会学会
【学外委員等活動】	〔過去5年間〕社会政策学会 非定型労働部会世話人, 日本労働社会学会 幹事(事務局、社会政策関連学会協議会), 社会政策学会 事務局長, 東日本部落解放研究所 理事
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	「社会的に不利な状況にある子どもたちへの社会政策と教育」(査読論文)	國學院経済学	第71巻第1号	1～21	國學院大學経済学会	2022年09月01日
論文	単著	「旧産炭地と地域労働市場:福岡県大牟田市を中心に」(査読論文)	國學院経済学	第70巻第1号	1～16	國學院大學経済学会	2021年08月01日
Misc	単著	「リレーエッセイ 水平社100年に想う15 社会運動における主体的な闘争の重要性:水平社と山谷」	部落解放	821号	72～75	解放出版社	2022年05月10日
著書等出版物	分担執筆	『大阪社会労働運動史』(「被差別部落の実態と運動・政策」)		第10巻	666～677	大阪社会運動協会編	2024年07月10日
著書等出版物	分担執筆	『講座近現代日本の部落問題2 戦時・戦後の部落問題』(「戦後復興期の被差別部落」)		2巻	245～268	解放出版社	2022年03月03日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	「ターゲット型施策に関する一考察:地方自治体による無料職業紹介事業を事例として」(査読論文)	國學院経済学	第65巻第2号	33～63	國學院大學経済学会	2016年12月24日
論文	単著	「日雇派遣労働と日雇労働研究—規制緩和の是非に関する一考察」	人間科学論集	10巻1号	41～63	西南学院大学	2014年08月01日
Misc	単著	書評:『被差別部落女性の主体性形成に関する研究』熊本理抄著、解放出版社(2020)	リベラシオン	第181号	114～118	福岡県人権研究所	2021年03月31日
Misc	単著	書評:矢野亮著『しかし、誰が、どのように、分配してきたのか:同和政策・地域有力者・都市大阪』洛北出版、2016年	社会政策(社会政策学会誌)	第9巻第3号	144～147	社会政策学会	2018年03月30日
Misc	単著	書評:渡辺拓也著『飯場へ:暮らしと仕事を記録する』	日本労働社会学会年報	29巻	135～140	日本労働社会学会	2018年

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(B)	被差別部落をめぐる国際労働力移動についての学際的研究	日本学術振興会	廣岡 浄進	24K03168	18590000	2024年04月01日～2028年03月31日
科研費	若手研究(B)	社会的包摂を目的とした地域政策に関する研究	日本学術振興会	大西 祥恵	23730564	1300000	2011年04月28日～2014年03月31日
科研費	基盤研究(C)	被差別地区出身者と在日コリアンのひとり親家族の複合差別と排除に関する実証研究	日本学術振興会	神原 文子	22530592	3900000	2010年04月01日～2013年03月31日

担当授業科目

2024年度: 社会政策論, 労働経済, 日本の経済, 演習 I, 演習 II A, 演習 II B, 演習 II (4), 演習 III (4), 演習 III (卒業論文) A, 演習 III (卒業論文) B, 基礎演習 A, 基礎演習 B, 卒業レポート演習

【 職・氏名 】	教授 小木曾 道夫 (OGISO Michio)
【 学 位 】	文学博士(社会学) (1989年03月,上智大学,甲第87号)
【本学就任年月日】	1996年04月01日
【 略 歴 】	上智大学 文学部社会学科 卒業 上智大学 大学院文学研究科社会学専攻修士課程 修了 上智大学 大学院文学研究科社会学専攻博士課程 修了
【 研究分野 】	組織社会学、産業社会学、集合行動
【 所属学会 】	日本社会学会, 東北社会学会, 組織学会, 関東社会学会
【学外委員等活動】	
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	組織における相互準拠	國學院経済学	71, 1	23～ 38, 16	國學院大學経済学 会	2022年09月30日
論文	単著	育児と介護を阻害する自明性の研究	國學院経済学	70, 1	17～ 37, 21	國學院大學経済学 会	2021年08月01日
その他	共	コンビニ、マクドナルド、学食、ス ポーツブランド、外国旅行、ペット、 ディズニー、音楽、読書、SNS、美容 院についての調査				<a href="http://www2.kokuga
kuin.ac.jp/~ogiso/en
quete/2024/index.ht
ml">http://www2.kokuga kuin.ac.jp/~ogiso/en quete/2024/index.ht ml	2024年09月26日
その他	共	スポーツ、コンビニ、ファッション、温 泉地とペットについての調査				<a href="http://www2.kokuga
kuin.ac.jp/~ogiso/en
quete/2023/index.ht
ml">http://www2.kokuga kuin.ac.jp/~ogiso/en quete/2023/index.ht ml	2023年09月25日
その他	共	居住地域と移動手段および髪型と 部活動についての調査				<a href="http://www2.kokuga
kuin.ac.jp/~ogiso/en
quete/2022/index.ht
ml">http://www2.kokuga kuin.ac.jp/~ogiso/en quete/2022/index.ht ml	2022年10月03日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	意味作用と条件つき相互規定	國學院大學 経済学 研究	第46輯	31	國學院大學大学院 経済学研究科	2015年03月10日
著書等出版物	単著	SPSSによるやさしいアンケート分析 第2版			164	オーム社	2012年05月25日
著書等出版物	単著	『自己生産する組織～組織の環境、 公式構造、課業特性、能率、および 有効性の関係』			190	夢窓庵	2007年11月20日
著書等出版物	単著	『ネットワークングとは何か？[増補 改訂版]』			124	夢窓庵	2005年07月01日
著書等出版物	単著	『組織の自己革新～知識集約的部 門の現場から』			285	夢窓庵	1997年04月01日

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

担当授業科目
2024年度: アンケート調査Ⅱ, 演習ⅡB, 演習Ⅲ(4), 演習Ⅲ(卒業論文)A, 演習Ⅱ(4), 基礎演習A, 演習Ⅰ, 経営特別演習, 演習Ⅲ(卒業論文)B, アンケート調査Ⅰ, 演習ⅡA

【 職・氏名 】	教授 尾近 裕幸 (OKON Hiroyuki)						
【 学 位 】	修士(経済学)						
【本学就任年月日】	1998年04月01日						
【 略 歴 】	中央大学 経済学部経済学科 卒業 大阪市立大学 大学院経済学研究科 修士課程 修了 大阪市立大学 大学院経済学研究科 博士課程 満期退学						
【 研究分野 】	オーストリア学派経済学						
【 所属学会 】	経済学史学会, 比較経済体制学会, 進化経済学会						
【学外委員等活動】	〔過去5年間〕独立行政法人大学入試センター 全国大学入学者選抜研究連絡協議会企画委員会, 一般社団法人日私立大学連盟 教育研究委員会, Associate Editor of The Review of Austrian Economics, Member of Editorial Board of The Quarterly Journal of Austrian Economics						
【 受賞歴等 】	【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)						
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	共著	Austrian Economics in Japan: The Life and Legacy of Katsuichi Yamamoro	The Austrian School of Economics in the 21st Century: Evolution and Impact, edited by Annette Godart-van der Kroon and Joseph Salerno		117～130, 14	Springer	2023年01月17日
講演・発表		The Eternal Validity of "Die Wirtschaftrechnung im sozialistischen Gemeinwesen": A Centenary Appraisal	経済学史学会第84回 全国大会(オンライン)			経済学史学会	2020年10月18日
【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	The Austrian Revival	Hayek: A Collaborative Biography Part XIII: 'Racism' and Liberalism in the (Austrian) Classical Tradition		213～244, 32	Palgrave MacMillan	2018年
論文	単著	Ludwig von Mises as a Pure Subjectivist	K. Yagi and Y. Ikeda (ed.), Subjectivism and Objectivism in the History of Economic Thought		126～143, 18	Routledge	2012年06月15日
論文	単著	1970年代におけるオーストリア学派経済学の再生	國學院大學紀要	第40巻	51～67, 17	國學院大學	2002年03月01日
論文	単著	進化経済学へのハイエクの遺産—脱均衡・自生的定常秩序・局所的適応—	進化経済学会・塩沢由典編『方法としての進化』		101～126	シュプリンガー・フェアラーク東京	2000年01月01日
その他	単著	制度、企業家精神、および経済発展	國學院経済学	第64巻 第1号	149～171	國學院大學経済学会	2015年07月01日
【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	「社会主義経済計算論争」の理論的・歴史的展開の過程とその意義に関する総合的研究	日本学術振興会	尾近裕幸	19530172	2080000	2007年4月1日～ 2010年3月31日
科研費	基盤研究(C)	経済学におけるオーストリア学派の貢献に関する研究—学派の生成から現代までの発展—	日本学術振興会	尾近裕幸	11630018	3600000	1999年4月1日～ 2001年3月31日
担当授業科目							
2024年度: 経済学史入門, 経済理論入門, 演習 I, 演習 III (卒業論文)A, 演習 III (卒業論文)B, 演習 III (4), ミクロ経済 II							

【 職・氏名 】	准教授 尾崎 麻弥子 (OZAKI Mayako)
【 学 位 】	修士(経済学)
【本学就任年月日】	2010年04月01日
【 略 歴 】	早稲田大学 政治経済学部政治学科 卒業 早稲田大学 大学院経済学研究科 修士課程 修了 早稲田大学 大学院経済学研究科 博士課程 満期退学
【 研究分野 】	西洋経済史
【 所属学会 】	スイス史研究会, 社会経済史学会, フランス経済史研究会, ドイツ資本主義研究会, スイス史研究会, 社会経済史学会
【学外委員等活動】	[過去5年間]スイス史研究会 幹事, 社会経済史学会 情報化委員
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	共著	「19世紀なかばトゥーレーヌ地方の農業協会について:1853年の報告」	『國學院経済学』	第73巻 第2号	51～65	國學院大學経済学 会	2025年3月

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	「19世紀末から20世紀初頭におけるジュネーヴとサヴォワの家畜取引」	『立教経済学』	第72巻 4号	25～48	立教経済学研究会	2019年3月
論文	単著	「19世紀におけるスイス-フランス国境地域のナショナル・アイデンティティと経済的実態」	『地域と越境—「共生」の社会経済史』		135～159	春風社	2014年05月12日
論文	単著	「18世紀後半ジュネーヴ市の移入民における出身地・職業構成の転換と連続—アピタンの記録と滞在許可証の分析を中心として」	『社会経済史学』	第71巻 2号	197～211	社会経済史学会	2005年07月01日
Misc	共著	中立国スイスとナチズム 第二次大戦と歴史認識			719	京都大学出版会	2010年11月10日
Misc	共著	ポール・ギシヨネ著『フランス・スイス国境の政治経済史—越境、中立、フリー・ゾーン』			264	昭和堂	2005年05月01日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(B)	近代国家の周縁の持つ多義性の研究	日本学術振興会	田村 愛理	20310149	17550000	2008年度～2010年度
科研費	若手研究(B)	近現代ヨーロッパにおける地域と国家	日本学術振興会	尾崎 麻弥子	19730239	1250000	2007年度～2008年度

担当授業科目

2024年度: 演習 I, 演習 II A, 演習 II B, 演習 II (4), 演習 III (4), 演習 III (卒業論文) A, 演習 III (卒業論文) B

【 職・氏名 】	教授 尾田 基 (ODA Hajime)
【 学 位 】	博士(商学) (2013年03月22日,一橋大学,商第123号)
【本学就任年月日】	2020年04月01日
【 略 歴 】	一橋大学 商学部経営学科 卒業 一橋大学 大学院商学研究科修士課程 修了 一橋大学 大学院商学研究科博士後期課程 修了
【 研究分野 】	イノベーション論、経営戦略論、経営組織論
【 所属学会 】	日本ベンチャー学会, 研究・イノベーション学会, 国際公共経済学会, 日本公共政策学会, 一橋商学会, 日本経営学会, 組織学会
【学外委員等活動】	[過去5年間] 研究・イノベーション学会 編集委員, 匿名レフェリー, 日本ベンチャー学会 編集委員, 組織学会 匿名レフェリー
【 受賞歴等 】	平成29年度研究功績等表彰, IIRサマースクール2012 優秀賞

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	クラスサイズが異なる授業の構成比率に関する一考察	國學院経済学	73, 2	93～112	國學院大學経済学会	2025年03月30日
論文	共著	教育目標と授業形態の対応関係—ケースメソッド教育の位置づけ確認のための準備的考察—	國學院経済学	73, 2	1～28	國學院大學経済学会	2025年03月30日
論文	単著	政策企業家の直面するフリーライドの二面性	一橋商学論叢	18, 1	30～40	一橋商学会	2023年05月01日
論文	共著	配達フィールド実験に対する国民の不安を解消するための質問紙実験研究	ゆうちょ財団 郵便・物流・流通に関する調査研究 最終報告書		1-45	ゆうちょ財団	2021年01月15日
論文	単著	経済産業省「社会人基礎力」概念の批判的検討	國學院大學教育開発推進機構紀要	13	1～13, 13	國學院大學教育開発推進機構	2022年03月01日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
Misc	共著	ビジネスケース:映画制作会社としてのNetflix	國學院経済学	73, 1	1～30	國學院大學経済学会	2024年09月30日
Misc	共著	ビジネスケース:カルチャア・コンビニエンス・クラブの業態転換	國學院経済学	72, 2	1～23	國學院大學経済学会	2024年03月01日
論文	単著	新事業の社会的正当化における無料提供の効果:グーグル・ストリートビューを事例として	組織科学	52, 3	57～68	組織学会	2019年03月20日
論文	共著	先行者と後発者による新市場理解の相違:電動アシスト自転車の構造化プロセスを事例に	組織科学	52, 3	33～46	組織学会	2019年03月
論文	単著	外部性概念の諸相:イノベーション・マネジメント論の観点から	国際公共経済研究	27	26～34	国際公共経済学会	2016年09月

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	新事業合法化プロセスにおけるエビデンス収集問題の探求	日本学術振興会	尾田 基	24K05060	2860000	2024年04月01日～2028年03月31日
科研費	若手研究	社会的逸脱行動がイノベーションに及ぼす影響	日本学術振興会	尾田 基	19K13806	4030000	2019年04月01日～2023年03月31日
科研費	若手研究(B)	新事業の法制度整備における問題発見プロセス:企業家の初期対応とその変容に着目して	日本学術振興会	尾田 基	15K17110	4030000	2015年04月01日～2018年03月31日

担当授業科目

2024年度:演習Ⅲ(卒業論文)A,2024年度:演習Ⅲ(卒業論文)B【派遣研究期間のため減コマ】

【 職・氏名 】	教授 小野 正人 (ONO Masato)
【 学 位 】	博士(経済学) (2014年02月20日, 國學院大學, 経乙第10号)
【 本学就任年月日 】	2020年04月01日
【 略 歴 】	東京大学 経済学部経済学科 卒業 國學院大學 大学院経済学研究科経済学専攻 博士後期課程 満期退学
【 研究分野 】	アントレプレナーシップ、ベンチャーファイナンス、イノベーション教育、経営教育、企業分析
【 所属学会 】	イノベーション教育学会、経営史学会、日本証券経済学会、日本ベンチャー学会
【 学外委員等活動 】	[過去5年間] ライトレック株式会社 取締役(社外取締役)
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	再考 ベンチャービジネスの形成と 発展 一戦後から1970年代まで一	國學院経済学	第73巻 第2号	29～ 50	國學院大學経済学 会	2025年03月30日
論文	単著	(研究ノート)ドイツ実業教育の変化 に関する一考察	The Josai Journal of Business Administration	20, (1)	2～ 7, 6	城西大学大学院経 営学研究科	2024年03月25日
論文	単著	ベンチャーファイナンス市場の動向 と現状 一この20年を振り返る一	証券アナリストジャー ナル	第61巻 第3号	6～ 15, 10	日本証券アナリスト協 会	2023年03月01日
著書等出版物	共著	イチから学ぶスタートアップ一大学 生の起業入門			192	創成社	2024年04月05日
著書等出版物	単著	イチから学ぶ企業研究一大学生の 企業分析入門			208	創成社	2022年06月21日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	共著	キャリア形成をふまえた経営学部教 育の実態と方向	城西大学経営紀要	15, 1	71～ 110, 40	城西大学	2019年03月31日
論文	共著	経営学部生の英語意識と教育改善 に関する考察 - キャリア・グローバル指向の学部 教育に向けた実態調査を中心に -	城西大学教職課程セ ンター紀要	3	61～ 74	城西大学	2019年03月29日
論文	共著	経営学部におけるキャリア教育の実 践事例と課題	城西大学経営紀要	11, 1	133～ 151, 19	城西大学	2015年03月31日
論文	単著	アメリカの富豪と起業家一20世紀前 半における富豪の新興企業投資と その影響	城西大学経営紀要	11, 1	27～ 44, 18	城西大学	2015年03月31日
論文	単著	アメリカ西海岸における新興企業投 資組織の形成	城西大学経営紀要	9, 1	31～ 57, 27	城西大学	2013年03月31日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

担当授業科目

2024年度: 経営分析, 現代の企業経営, 演習 I, 演習II(4), 演習IIA, 演習 IIB, 演習III(4), 演習III(卒業論文)A, 演習III(卒業論文)B, ベンチャービジネス, 経営入門

【 職・氏名 】	教授 木村 秀史 (KIMURA Shushi)
【 学 位 】	博士(経済学) (2012年03月17日, 國學院大學, 経甲第9号)
【 本学就任年月日 】	2019年04月01日
【 略 歴 】	國學院大學 経済学部経済学科 卒業 國學院大學 大学院経済学研究科博士課程前期 修了 國學院大學 大学院経済学研究科博士課程後期 修了
【 研究分野 】	国際金融論, 国際通貨論, 国際通貨ヒエラルキー, 発展途上国の対外債務, 発展途上国の通貨統合, GCC通貨統合
【 所属学会 】	証券経済学会, 日本国際経済学会, 日本金融学会, 信用理論研究学会
【 学外委員等活動 】	
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	国際通貨ヒエラルキーの概念からみる途上国・新興国の対外債務の非対称性	立命館経済学	第72巻 第4号	80～99	立命館大学	2024年03月
Misc	単著	(翻訳) 高海紅著「立ち直りつつある中国の世界経済復興への貢献」	国際金融(1332号)		6	外国為替貿易研究会	2020年05月01日
Misc	単著	(翻訳) 余永定著「中国経済におけるコロナウィルスとの闘争」	国際金融(1331号)		4～5	外国為替貿易研究会	2020年04月01日
著書等出版物	分担執筆	アクティブ・ラーニングで学ぶ日本の経済			219	東洋経済新報社	2021年04月01日
著書等出版物	共著	グローバル経済と債務累積の構造			87～115	晃洋書房	2021年03月15日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	発展途上国の通貨統合とドル体制－湾岸産油国の動向を事例に－	信用理論研究	第37号	103～119	信用理論研究学会	2019年05月
論文	単著	発展途上国の通貨同盟における為替政策と金融政策の放棄のコスト－最適通貨圏の理論に対する批判的検討－	総合政策論叢(島根県立大学)	第30号	31～48	島根県立大学	2015年11月
著書等出版物	分担執筆	複合危機－ゆれるグローバル経済－			300	日本経済評論社	2017年12月
著書等出版物	分担執筆	現代金融論 新版(有斐閣ブックス)			368	有斐閣	2016年12月
著書等出版物	単著	発展途上国の通貨統合			227	蒼天社出版	2016年04月

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
競争的資金		経済不安定下における資源価格と資本市場の関連性をめぐる研究	公益財団法人石井記念証券研究振興財団	木村秀史・松本朗		700000	2012年07月

担当授業科目

2024年度: 経済学特論(金融リテラシー), 演習 I, 日本の金融システム, 金融の基礎, 日本の経済, 国際通貨と国際金融

【 職・氏名 】	教授 櫻井 潤 (SAKURAI Jun)						
【 学 位 】	博士(経済学) (2017年03月16日,中央大学,経博乙第63号)						
【本学就任年月日】	2020年04月01日						
【 略 歴 】	中央大学 経済学部経済学科 卒業 東京大学 大学院経済学研究科現代経済専攻 修士課程 修了 東京大学 大学院経済学研究科現代経済専攻 博士課程 退学						
【 研究分野 】	財政学						
【 所属学会 】	日本社会福祉学会, 社会政策学会, 日本地方財政学会, 日本財政学会						
【学外委員等活動】							
【 受賞歴等 】							
【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	テキサス州のメディケイド1115ウェイバーをめぐる州・連邦政府間関係の動態:連邦政策の動向を見据えた州政策の展開	國學院経済学	第71巻 第1号	39～ 87, 49	國學院大學経済学 会	2022年09月
論文	単著	テキサス州のポスト・オバマケアのメディケイド改革における州財政の論理:「負担に見合う」連邦補助金を用いた医療ニーズへの対応	國學院経済学	第70巻 第2号	1～ 33, 33	國學院大學経済学 会	2022年03月
講演・発表	単独	テキサス州のポスト・オバマケアのメディケイド改革における州財政の論理:「負担に見合う」連邦補助金を用いた医療ニーズへの対応	國學院大學経済学会 研究会			國學院大學経済学 会	2022年05月18日
【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	アメリカの市場重視型の医療保障政策:地域市場とコミュニティ組織と政府部門	中央大学大学院経済学 研究科博士後期課程 学位論文(論文博士)		1～ 301	中央大学	2017年03月
論文	単著	アメリカの地域保険市場への連邦介入を通じた医療保険改革の実証的研究:ニューヨーク州の医療保険取引所を中心に	公益財団法人かんぼ 財団・平成26年度調 査研究助成調査研究 報告書		1～64	公益財団法人かんぼ 財団	2015年06月
論文	単著	地域医療システムの開発における公民協働と財政支援:JA北海道厚生連の病院運営事業を事例として	開発こうほう	618	27～ 31	一般財団法人北海 道開発協会	2015年01月
論文	単著	中本悟・宮崎礼二編『現代アメリカ経済分析:理念・歴史・政策』(日本評論社)2013年	アメリカ経済史研究 (アメリカ経済史学会 編)	13	58～ 61	アメリカ経済史学会	2014年12月
論文	共著	北海道鶴居村における居宅介護の推進事業と介護保険財政:持続可能な介護保障システムの構築に向けた市町村の取り組み	北海道医療大学看護 福祉学部紀要	21	29～ 41	北海道医療大学看護 福祉学部紀要委 員会	2014年12月
【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	若手研究	地域の医療ニーズに即した医療扶助システムの構築に向けた医療保障政策の実証的研究	日本学術振興会	櫻井潤	19K13981	3120000	2019年04月01日～ 2024年03月31日
科研費	若手研究(B)	無保険の状態にあるワーキングプアの保険加入促進に向けた医療保障政策の研究	日本学術振興会	櫻井潤	16K17273	2210000	2016年04月01日～ 2019年03月31日
競争的資金		アメリカの地域保険市場への連邦介入を通じた医療保険改革の実証的研究	公益財団法人かんぼ 財団	櫻井潤		540000	2014年07月～2015 年06月
担当授業科目							
2024年度:財政の基礎, 地域と行財政, 日本の経済, 基礎演習A, 基礎演習B, 演習 I, 演習 II A, 演習 II B, 演習 III (卒業論文) A, 演習 III (卒業論文) B							

【 職・氏名 】	准教授 東海林 孝一 (SHOJI Koichi)
【 学 位 】	経営学修士
【本学就任年月日】	1991年04月01日
【 略 歴 】	國學院大學 経済学部経済学科 卒業 横浜市立大学 大学院経営学研究科 修士課程 修了 青山学院大学 大学院経営学研究科 博士後期課程 満期退学
【 研究分野 】	会計学
【 所属学会 】	国際会計研究学会, 日本会計研究学会
【学外委員等活動】	〔過去5年間〕 東都大学野球連盟 常務理事, 東都大学野球連盟評議員
【 受賞歴等 】	平成30年度「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」, 令和3年度佐藤謙三賞

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	「アクティブラーニング教育の潜在的効果:FAの成長と愛校心」	『國學院大學教育開発推進機構紀要』	第16号	58～63	國學院大學教育開発推進機構	2025年2月

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	「ローソンの事例に見る統合報告書の可能性と課題」	『國學院経済学』	62巻 3/4合 併号	14	國學院大學経済学 会	2014年03月31日
論文	単著	「会計基準の変更が業績評価会計に与える影響の考察－予算管理を行っている事業部制組織を中心に－」	『國學院経済学』	第56巻 第2号	107～122	國學院大學経済学 会	2008年02月01日
論文	単著	「コミットドコストのコントロールのための長期予算の活用－短期予算重視の企業経営の問題点と解決の指針－」	『國學院大學経済学研究』		1～ 17	國學院大學大学院 経済学研究科	1994年03月01日
論文	単著	「予算管理における予算教育の意義－予算管理の構造的特質からのアプローチ－」	『國學院経済学』	第39巻 第3・4 合併号	27～ 44	國學院大學経済学 会	1993年11月01日
論文	単著	「予算差異分析の特質と限界の超克－予算教育の内容の一つとして－」	『青山社会科学紀要』	第19巻 第2号	69～ 85	青山学院大学大学 院	1991年03月01日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

担当授業科目

2024年度: 基礎演習A, 予算管理, 原価計算, 会計入門, 演習ⅡB, 演習Ⅲ(卒業論文)B, 演習Ⅰ, 演習ⅡA, 演習Ⅱ(4), 演習Ⅲ(4), 演習Ⅲ(卒業論文)Aスプリングセミナー(演習Ⅰ), スプリングセミナー(演習Ⅱ),

【 職・氏名 】	教授 杉山 里枝 (SUGIYAMA Rie)
【 学 位 】	博士(経済学) (2009年03月, 東京大学, 第263号)
【本学就任年月日】	2016年04月01日
【 略 歴 】	東京大学 経済学部経済学科 卒業 東京大学 大学院経済学研究科経済史専攻 修士課程 修了 東京大学 大学院経済学研究科経済史専攻 博士課程 修了
【 研究分野 】	日本経済史・経営史
【 所属学会 】	渋沢研究会, 鉄道史学会, 経営史学会, 企業家研究フォーラム, 政治経済学・経済史学会, 社会経済史学会, 日本経済思想史学会, 日本金融学会, 日本観光学会
【学外委員等活動】	[過去5年間]愛知県史編さん委員会 特別調査委員, 企業家研究フォーラム 幹事, 企業家研究フォーラム 編集委員, 鉄道史学会 評議員, 渋沢研究会 運営委員, 愛知県史編さん委員会 特別調査執筆委員, 鉄道史学会 理事
【 受賞歴等 】	第16回日本観光研究学会 学会賞観光著作賞、2010年度経営史学会賞、鉄道史学会住田奨励賞(第1・第2部門)

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ~終了ページ,ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	明治・大正期の「田園都市」のなかの図書館	『現代の図書館』	62~1	8~14, 7	日本図書館協議会	2024年08月08日
論文	単著	「中京財界と渋沢栄一」	松本和明(編著)『渋沢栄一がめざした「地域」の持続的成長：人的ネットワークの確立と連携の推進』第3章		58~79	ミネルヴァ書房	2023年07月01日
論文	単著	「戦間・戦時期私鉄の観光事業の展開—名古屋鉄道を事例に—」	千住一・老川慶喜編『帝国日本の観光—政策・鉄道・外地—』第5章		115~135	日本経済評論社	2022年03月01日
論文	単著	「渋沢栄一の社会事業と現在のSDGs, ESGの考え方への萌芽」	『月刊資本市場』	2021年11月号	39~47	資本市場研究会	2021年11月01日
論文	単著	“Shibusawa Eiichi’s Strategies towards Local Business and Social Welfare”	『渋沢研究』		3~15	渋沢研究会	2021年01月01日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ~終了ページ,ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	「ガバナンスの効いた組織をどうつくるか」	『企業会計』	71~11	29~36	中央経済社	2019年11月01日
論文	単著	「社会企業家としての渋沢栄一と社会事業」	『渋沢研究』	第28号	63~75	渋沢史料館	2016年01月01日
論文	単著	「1930年代の三菱財閥における経営組織—理事会・社長室会の検討を中心に—」	『三菱史料館論集』	第11号	127~181	三菱史料館	2010年03月01日
著書等出版物	共著	『日本経済史』			1~7, 69~114	ミネルヴァ書房	2017年04月01日
著書等出版物	単著	『戦前期日本の地方企業—地域における産業化と近代経営—』			1~262	日本経済評論社	2013年02月01日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	若手研究(B)	戦前期尾西織物業の展開と地域の産業化に関する社会経済史的研究	日本学術振興会	杉山里枝(石井里枝)	17K13770	3770000	2017年04月01日~2022年03月31日
科研費	基盤研究(B)	戦前期東アジアにおける観光現象と鉄道事業の相互性に関する総合的研究	日本学術振興会	千住一	17H02253	10920000	2017年04月01日~2020年03月31日
科研費	基盤研究(C)	川越商業会議所の設立と展開に関する総合的研究	日本学術振興会	老川慶喜	26380439	4680000	2014年04月01日~2017年03月31日

担当授業科目

2024年度: 演習II(4), 演習III(4), 基礎演習B, 経済史入門, 演習III(卒業論文)B, 演習IIA, 演習III(卒業論文)A, 日本経済史I, 日本経済史II, 基礎演習A, 演習II B, 演習I

【 職・氏名 】	准教授 高木 康順 (TAKAGI Yasunobu)
【 学 位 】	経済学修士
【本学就任年月日】	1992年04月01日
【 略 歴 】	慶應義塾大学 経済学部 卒業 慶應義塾大学 大学院経済学研究科 修士課程 修了 慶應義塾大学 大学院経済学研究科 博士課程 満期退学
【 研究分野 】	マクロ経済学理論、計量経済学
【 所属学会 】	Royal Economic Society, Econometric Society, American Economic Association
【学外委員等活動】	
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
著書等出版物	共著	『アクティブ・ラーニングで学ぶ 日本の経済』			306(77～94, 94～116)	東洋経済新報社	2021年03月19日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	「投資オプションモデルの耐久消費財支出行動への応用」	『計量経済学のフロンティア』	第5章	147～163, 194	慶應義塾大学出版会	2006年03月01日
論文	単著	「アジアにおける国際産業連関構造の変化—日米との構造パターン比較」	『國學院経済学』	第43巻 第3号	1～28	國學院大學経済学会	1995年05月01日
論文	単著	「耐久消費財支出における流動性制約」	『國學院経済学』	第43巻 第1・2 合併号	1～27	國學院大學経済学会	1995年03月01日
著書等出版物	共著	『応用計量経済学I』			394(1～152)	多賀出版	1997年09月01日
著書等出版物	共著	『環太平洋諸国における為替レート調整と関税引き下げの効果』			199	財団法人 国際交流財団	1990年03月01日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	奨励研究(A)	アジア太平洋国際産業連関表の簡易推計及びシミュレーション解析とその手法開発	日本学術振興会	高木康順	05730017	900000	1993年度

担当授業科目

2024年度: 日本の経済, 基礎演習B, 統計入門, 演習 I, 演習 II A, 演習 II (4), 演習 II B, 演習 III (4), 演習 III (卒業論文) A, 演習 III (卒業論文) B, 経済経営数学入門, データ分析の手法 I

【 職・氏名 】	教授 高橋 克秀 (TAKAHASHI Katsuhide)
【 学 位 】	修士(学術)
【本学就任年月日】	2008年04月01日
【 略 歴 】	早稲田大学 政治経済学部経済学科 卒業 早稲田大学 大学院社会科学研究科 博士前期課程 修了 早稲田大学 大学院社会科学研究科 博士後期課程 満期退学
【 研究分野 】	計量経済学, アジア経済論
【 所属学会 】	東京経済研究センター(TCER), 日本経済研究センター(JCER), 国際開発学会, 中国経済学会
【学外委員等活動】	[過去5年間]北京大学国際関係学院国際政治経済研究センター リサーチ・フェロー
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	市場原理主義への対抗軸としての 宇沢思想の可能性	國學院経済学	第71巻 第2号	103～122	國學院大學経済学 会	2023年03月30日
Misc	単著	投資先として見直されるフィリピン	TOYRO BUSINESS	Vol.207	14-15	株式会社 自然総研	2024年10月20日
Misc	単著	まずアベノミクスの総括から始めよ	週刊エコノミスト Online			毎日新聞出版	2024年09月06日
Misc	単著	中国の景気は回復しているのか?	TOYRO BUSINESS	Vol.206	12-13	株式会社 自然総研	2024年07月20日
Misc	単著	深刻化する台湾の少子化問題	TOYRO BUSINESS		14-15	株式会社 自然総研	2024年04月20日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	共著	Bipartite Networks of Universities and Companies:Recruiting New Graduates in Japan	JPS Conference Proceedings	Vol.16		The Physical Society of Japan	2017年12月01日
論文	単著	アレクサンドロス大王東征における 兵站の問題未完の帝国のロジス ティックス	國學院経済学	第65巻 第1号	1～26	國學院大學経済学 会	2016年07月01日
論文	共著	Hubs and Authorities in the World Trade Network Using a Weighted HITS Algorithm	PLOS ONE			PLOS Published: July 22, 2014 -DOI: 10.1371/journal.pone .0100338	2014年07月22日
論文	共著	日本企業の輸出におけるFTA利用 の実態:統計的特性と特定企業へ の集中	國學院経済学	第61巻 第1号	1～17	國學院大學経済学 会	2012年11月01日
論文	単著	On the Use of Free Trade Agreement by Japanese Firms (with Shujiro Urata)	Free Trade Agreements in the Asia Pacific, edited by Christopher Findley and Shujiro Urata, World Scientific 2010 のchapter7		241～ 257	World Scientific	2009年10月01日

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(B)	境界国家・ラオスの生存と発展:政 治・経済・社会のアクターと大メコ ン	日本学術振興会	武石 礼司	23402025	12090000	2011年04月01日～ 2014年03月31日
科研費	基盤研究(A)	BRICs諸国の潜在経済成長力と資 源・環境に関わる持続可能性の比 較研究	日本学術振興会	吉井 昌彦	18203020	38220000	2006年～2008年

担当授業科目

2024年度: 統計入門, 世界経済入門, アジア経済史, 演習 I, 演習 II A, 演習 II B, 演習 II (4), 演習 III (4), 演習 III (卒業論文) A, 演習 III (卒業論文) B, 経済経営数学入門

【 職・氏名 】	教授(特別専任) 高橋 尚子 (TAKAHASHI Naoko)						
【 学 位 】	理学士						
【本学就任年月日】	2007年04月01日						
【 略 歴 】	東京女子大学 文理学部数理学科 卒業						
【 研究分野 】	情報教育、コンピュータ利活用、テクニカルコミュニケーション						
【 所属学会 】	テクニカルコミュニケーション学術研究会, 情報処理学会 情報システムと社会環境研究会, 情報処理学会 コンピュータと教育研究会, 情報処理学会, 日本テスト学会						
【学外委員等活動】	〔過去5年間〕情報処理学会 会誌『情報処理』副編集長, 一般社団法人 情報処理学会 理事, 一般社団法人 日本技術者教育認定機構(JABEE) 理事, NPO 情報オリンピック日本委員会 理事(2021/5まで)、監事(2021/6から), 知的財産高等裁判所 専門委員, 一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会 専務理事、TC技術検定部会長, 日本商工会議所 PC検定部会 委員						
【 受賞歴等 】	【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)						
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	Multiple Platform Problems in Online Teaching of Informatics in General Education, Faced by Part-Time Faculty Members	スプリング		275～285	Springer Nature	2023年07月01日
論文	共著	Development of IPSJ Data Science Curriculum Standard	スプリング		156～167	Springer Nature	2022年03月13日
著書等出版物	単著	《連載:教科「情報」の入学試験問題って?》2023年本試験問題 第4問「表計算でデータサイエンス?」		Vol.64 No.12	(e44-e53)	情報処理学会	2023年11月15日
著書等出版物	監修	『アカデミックスキルとしてのICT活用』第2版			207	技術評論社	2023年03月03日
著書等出版物	共編著	『IT Text 一般情報教育』			251	オーム社	2020年09月01日
【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	「情報科」大学入試実施のためのCBTシステムV2と試行試験	情報教育シンポジウム論文集		226～233	情報処理学会	2019年08月10日
論文	共著	Survey and Analysis of Computing Education at Japanese Universities: Informatics in General Education	Olympiads in Informatics	2019, Vol.13	81～98	IOI	2019年06月01日
論文	共著	大学生の日本語ライティングにおける技術要素の分類:テクニカルライティング技術を応用して	日本教育心理学会総会発表論文集	61, 0	243	一般社団法人 日本教育心理学会	2019年
論文	単著	情報教育はどこまで広がっているのか——分からないことを調べる苦難と今後のために	教育とコンピュータ	Vol.4, No. 1	8	情報処理学会	2018年02月01日
著書等出版物	共著	『日本語スタイルガイド』第3版			324(281～314)	一財)テクニカルコミュニケーター協会	2016年04月15日
【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(A)	大学入試を中心とした情報分野の学力評価手法の検討	日本学術振興会	植原啓介	23H00068	45890000	2023年04月01日～2028年03月31日
科研費	基盤研究(B)	一般情報教育のデジタルトランスフォーメーション(DX)	日本学術振興会	湯瀬裕昭	23H01007	12610000	2023年04月01日～2026年03月31日
科研費	基盤研究(C)	一般情報教育知識空間の構築と探索	日本学術振興会	稲垣知宏	19K02974	4420000	2019年04月01日～2022年03月31日
担当授業科目							
2024年度: 基礎演習A, 基礎演習B, コンピュータと情報Ⅱ(データ活用), データ・リテラシー, 情報システム, 卒業レポート演習							

【 職・氏名 】	教授 田原 裕子 (TAHARA Yuko)
【 学 位 】	博士(学術) (1996年03月, 東京大学, 博総合第75号)
【本学就任年月日】	2002年04月01日
【 略 歴 】	お茶の水女子大学 文教育学部 地理学科 卒業 東京大学 大学院理学系研究科地理学専攻修士課程 修了 東京大学 大学院総合文化研究科広域科学専攻博士課程後期 修了
【 研究分野 】	地域社会問題、高齢社会と社会保障
【 所属学会 】	日本学術会議, 日本地理学会, 人文地理学会, 日本老年社会科学会, 都市計画学会
【学外委員等活動】	〔過去5年間〕渋谷区都市計画審議会, 日本学術会議 連携会員, 渋谷川広場運営連絡会 委員
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	少子化・高齢化	地理学事典		388～ 389, 2	丸善出版	2023年02月01日
論文	単著	元気な高齢者を支える地域	地理学事典		342～ 343, 2	丸善出版	2023年02月01日
論文	単著	「100年に一度」の渋谷再開発の背景と経緯ー地域の課題解決とグローバルな都市間競争ー	人文地理学会大会 研究発表要旨集		18～ 21, 4	オンライン	2020年11月30日
著書等出版物	共編著	地域学ー地域を可視化し、地域を創るー			164～172	古今書院	2024年02月01日
講演・発表	単独	「100年に一度」の渋谷再開発の背景と経緯ー地域の課題解決とグローバルな都市間競争ー	人文地理学会大会			人文地理学会	2020年11月14日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	「引退移動の動向と展望」	『人口減少と地域』		129～ 147	京都大学学術出版 会	2007年09月01日
論文	単著	「合衆国におけるリタイアメントコミュニティ産業の展開ーデル・ウェアップのサンシティ・アリゾナを中心にー」	『國學院経済學』	第55巻 第2号	105～126	國學院大學経済学 会	2007年03月10日
論文		高齢者の場所への愛着と内側性:岐阜県神岡町の事例	人文地理	54, 3	209～ 230	人文地理学会	2002年
論文	共著	「高齢帰還移動の過程とその影響に関する検討ー沖縄県N部落の事例ー」	『老年社会科学』	22巻3 号	436～ 448	日本老年社会科学 会	2000年10月01日
著書等出版物	共著	『渋谷学叢書4 渋谷らしさの構築』 「第2章 バブル経済崩壊後の渋谷」			252(55～101)	雄山閣	2015年03月10日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	渋谷再開発を契機とした新しい都市的コミュニティの創造に関する研究	日本学術振興会	田原 裕子	18K01151	1950000	2018年04月01日～ 2024年03月31日
科研費	基盤研究(C)	福祉国家の日中比較に関する地理学的研究	日本学術振興会	田原 裕子	16520491	3600000	2004年04月01日～ 2006年03月31日
科研費	奨励研究(A)	高齢期における居住地移動の空間構造の解明とモデル化に関する研究	日本学術振興会	田原 裕子	10780050	2100000	1998年04月01日～ 2000年03月31日

担当授業科目

2024年度: 演習 I, 演習II(4), 演習III(4), 演習 II A, 演習 II B, 演習 III (卒業論文) A, フィールドスタディ, 地域ブランド論, 社会保障論, 基礎演習B, 演習 III (卒業論文) B, サマーセミナー(演習II), サマーセミナー(演習III)

【 職・氏名 】	教授 中馬 祥子 (CHUMA Shoko)
【 学 位 】	社会学修士
【本学就任年月日】	2002年04月01日
【 略 歴 】	東京大学 文学部社会学 専修課程 卒業 東京大学 大学院人文社会系研究科 修士課程 修了 東京大学 大学院人文社会系研究科 博士課程後期 満期退学
【 研究分野 】	女性労働論、非市場経済論、社会的連帯経済、国際経済
【 所属学会 】	日本社会学会、経済理論学会 会員
【学外委員等活動】	
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	「日本における”女性職”の現状:図書館司書を含めた『専門的・技能的職業』に着目して」	『現代の図書館』	Vol.59, no.3	146～155	公益社団法人日本 図書館協会	2021年11月25日
論文	単著	「市場経済と性差別の奇妙な関係」	『科学的社会主義』	No.278	70～77	社会主義協会	2021年06月01日
Misc	単著	「資本主義市場経済では見落とされる非市場経済論とは(後編):育児や介護などのケア労働は、労働の中で特殊なものではない」	國學院大學ホーム ページ			國學院大學	2023年11月15日
Misc	単著	「資本主義市場経済では見落とされる非市場経済論とは(前編):市場経済を支えているのは、家事労働などの非市場経済である」	國學院大學ホーム ページ			國學院大學	2023年11月15日
Misc	単著	「あとがき」	伊藤誠『『資本論』と現代世界』		209～218	青土社	2023年09月05日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	「広義の経済における労働の同性:家事労働論争をめぐって」	『季刊経済理論』	第53巻 第4号	62～73	経済理論学会	2017年01月15日
論文	単著	「人的資本からの解放:西部モデルを用いて資本主義を再考する」	『國學院経済学』	第65巻 第2号	157～186	國學院大學経済学 会	2016年12月24日
論文	単著	人間関係構築型労働が抱える「コスト病」問題	『國學院経済学』	第59巻 第3・4 合併号	37	國學院大學経済学 会	2011年03月25日
論文	単著	「異種労働における『同一の価値』とは何か?:同一価値労働同一賃金論についての一検討」	『國學院経済学』	第58巻 第1号	43～37	國學院大學経済学 会	2009年12月25日
論文	単著	「マルクス経済学とフェミニズムの不幸な離婚:ケアワーク特殊論への批判を中心に」	『國學院経済学』	第55巻 第1号	1～48	國學院大學経済学 会	2006年11月01日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	若手研究(B)	資本主義世界経済の中の非市場労働の意味:社会差別研究と経済格差研究の統合にむけて	日本学術振興会	中馬 祥子	16730270	1200000	2004年～2005年

担当授業科目

2024年度: 基礎演習A, 基礎演習B, 開発経済, NPOと市民社会, 演習III(卒業論文)A, 演習III(卒業論文)B, 演習I, 演習IIA, 演習IIB, 卒業レポート演習, 日本の経済

【 職・氏名 】	准教授 辻 和洋 (TSUJI Kazuhiro)
【 学 位 】	博士(経営学) (2022年09月19日,立教大学,博第10号)
【本学就任年月日】	2020年04月01日
【 略 歴 】	関西学院大学 総合政策学部メディア情報学科 卒業 東京大学 大学院学際情報学府 修士課程 修了 立教大学 大学院経営学研究科経営学専攻 博士課程後期課程 修了
【 研究分野 】	人的資源開発、組織開発、ジャーナリズム
【 所属学会 】	社会情報学会
【学外委員等活動】	
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	組織開発の歴史的変遷と研究動向	國學院経済学		45～60	國學院大學経済学 会	2024年03月30日
論文	単著	新聞社の調査報道成立過程におけるジャーナリストの資源動員に関する研究—組織内プロフェッションとしての役割に着目して—	立教大学博士論文		1～191	立教大学	2022年
論文	共著	組織開発による教員の長時間労働是正の取り組み—校長研修におけるチェンジエージェントの育成を通じて	日本労働研究雑誌	730号	26～37	労働政策研究・研修 機構	2021年
論文	共著	新聞社の調査報道制作過程におけるデスクの役割に関する研究:「北海道警裏金問題」報道を事例に	社会情報学会	10巻 1 号	1～16	社会情報学会	2021年
講演・発表	単独	組織開発アプローチによる働き方改革—横浜市立学校の実践事例—	國學院大学経済学会 研究会			國學院大学経済学 会	2022年12月14日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	共著	調査報道のニュース生産過程に関する事例研究:地方紙における「高知県庁闇融資問題報道」での編集権に関わる編集者と記者の組織行動に着目して	社会情報学	7巻 1 号	37～54	社会情報学会	2018年
著書等出版物	編著	『データから考える 教師の働き方入門』			237	毎日新聞出版	2019年02月28日
著書等出版物	共著	「降格人事と上司の管理行動」	『人材開発研究大全』		607～628	東京大学出版会	2017年04月30日
著書等出版物	共著	「越境型管理職研修の学習効果」	『人材開発研究大全』		579～606	東京大学出版会	2017年04月30日
講演・発表	単独	調査報道ニュース生産過程における新聞社編集局員の組織行動に関する事例研究	社会情報学会関東支 部2019年度研究発表 会・研究発表			社会情報学会	2020年02月

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

担当授業科目	
2024年度: リーダーシップ基礎, リーダーシップ応用, 演習 I, 演習 II A, 演習 II B, 演習 II (4), 演習 III (4), 基礎演習 A, 基礎演習 B, 組織行動, 演習 III (卒業論文) A, 演習 III (卒業論文) B, ビジネスデザイン	

【 職・氏名 】	教授 手塚 貞治 (TEZUKA Sadaharu)
【 学 位 】	博士(学術) (2001年07月26日, 東京大学, 博総合第327号)
【本学就任年月日】	2022年04月01日
【 略 歴 】	東京大学 文学部 第4類社会学専修課程 卒業 早稲田大学 大学院社会科学部政策科学論専攻 修士課程 修了 東京大学 大学院総合文化研究科広域科学専攻 博士課程 修了
【 研究分野 】	経営戦略論・事業計画論・中小企業経営論
【 所属学会 】	日本マネジメント学会, 組織学会, 経営情報学会, 日本経営システム学会
【学外委員等活動】	〔過去5年間〕(株)ワールドホールディングス 社外取締役, (株)HALVOホールディングス 社外取締役
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	「不確実性下における戦略手法に関する一考察: シナリオプランニング有効活用の検討」	立教DBAジャーナル	11号 2020年	21～33	立教大学大学院ビジネスデザイン研究科	2020年12月01日
著書等出版物	編著	『新版 経営戦略の基本』			276	日本実業出版社	2024年04月20日
著書等出版物	編著	『新版マネジメントの基本』			222	日本実業出版社	2023年04月01日
著書等出版物	単著	『武器としての戦略フレームワーク』			294	日本実業出版社	2022年01月01日
講演・発表	単独	長寿ファミリー企業の成功要因に関する事例研究	日本経営システム学会第72回研究発表大会			日本経営システム学会	2024年05月19日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	「ビジネスエコシステム形成の成功要因に関する一考察」	日本経営システム学会誌	35巻 3号	221～ 228, 8	日本経営システム学会	2019年03月01日
論文	共著	"Knowledge sharing in inter-organisational intelligence : R&D-based venture alliance community cases in Japan"	International Journal of Technology Management	Vol.28, Nos.7/8	714～728	International Journal of Technology Management	2004年07月01日
論文	共著	「企業間提携のパターン別成功要因の分析-研究開発型ベンチャーの分析を中心として」	経営情報学会誌	12巻2号	1～ 19, 19	経営情報学会	2003年09月01日
論文	共著	「企業間提携における知識共有構造の分析-研究開発型ベンチャーの分析を中心として」	経営情報学会誌	Vol.10, No.1	81～ 100, 20	経営情報学会	2001年06月01日
著書等出版物	単著	『事業計画書作成講座』			262	日本実業出版社	2018年10月18日

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

担当授業科目
2024年度: 事業承継, ビジネスソリューション, 現代ビジネス, 日本の中小企業, 基礎演習A, 基礎演習B, 演習 I, 演習 II A, 演習 II B, 演習 II (4), 演習 III (4), 演習 III (卒業論文) A, 演習 III (卒業論文) B

【 職・氏名 】	教授 中泉 真樹 (NAKAIZUMI Maki)
【 学位 】	経済学士
【 本学就任年月日 】	1987年04月01日
【 略 歴 】	東京都立大学 経済学部経済学科 卒業 東京大学 大学院経済学研究科 満期退学
【 研究分野 】	応用ミクロ経済学、産業組織論、公共経済学、医療経済学
【 所属学会 】	日本経済学会(旧理論計量経済学会)
【 学外委員等活動 】	[過去5年間]東京経済研究センター(TCER)研究員
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
著書等出版物	共編著	アクティヴ・ラーニングで学ぶ日本の 経済			1～45	東洋経済新報社	2021年04月01日
著書等出版物	共訳	ブランシャール マクロ経済学(上・ 下) 第2版			(上)187～231 (下)1～115、 403～432、515 ～517	東洋経済新報社	2020年04月16日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	「情報の非対称性のもとでの医療技 術の選択と最適医療保険」	『医療と社会』		111～125		2004年12月01日
論文	単著	「垂直的事業展開から水平的事業 展開へ」	『國學院経済学』		248～296	國學院大學経済学 会	2002年06月01日
論文	単著	「技術のネットワーク外部性とシミュ レーター波動」	『國學院経済学』		121～154	國學院大學経済学 会	1999年10月01日
著書等出版物	共著	医療経済学講義			330	東京大学出版会	2011年09月15日
著書等出版物	共著	『ミクロ経済学 理論と応用』			440	東洋経済新報社	2000年06月01日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

担当授業科目

2024年度:産業組織論, 演習Ⅰ, 演習ⅡA, 演習ⅡB, 演習Ⅲ(卒業論文)A, 演習Ⅲ(卒業論文)B, 演習Ⅱ(4), 演習Ⅲ(4), 日本の経済, 経
済経営数学入門, サマーセミナー(演習Ⅱ), サマーセミナー(演習Ⅲ)

【 職・氏名 】	准教授 中田 有祐 (NAKATA Yusuke)
【 学 位 】	修士(商学)
【本学就任年月日】	2013年04月01日
【 略 歴 】	早稲田大学 商学部 卒業 早稲田大学 大学院商学研究科 修士課程 修了 早稲田大学 大学院商学研究科 博士後期課程 満期退学
【 研究分野 】	財務会計、国際会計
【 所属学会 】	日本会計研究学会, 国際会計研究学会
【学外委員等活動】	日本会計研究学会 幹事
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	マネジメント・アプローチに基づくセグメント情報の開示:企業価値評価の観点からの検討	Disclosure & IR	2018年 8月号	48～56	宝印刷	2018年8月1日
論文	単著	ビジネスモデルに基づく測定分類と会計情報の有用性	國學院経済学	第64巻 第4号	1～ 31	國學院大學経済学 会	2016年02月25日
論文	単著	概念フレームワークの開発とUnit of Account—IASBの概念フレームワーク公開草案を中心として—	國學院経済学	第64巻 第4号	33～ 58	國學院大學経済学 会	2016年02月25日
論文	単著	公正価値測定とその適用—金融商品会計をめぐる国際的な動向を中心として—	税経通信	第67巻 第8号	184～ 192	税務経理協会	2012年07月10日
論文	単著	会計上の認識および測定に関する考察—Unit of Accountの視点から—	會計	第158 巻第1 号	127～ 138	森山書店	2012年07月01日

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

担当授業科目
2024年度: 基礎演習A, 基礎演習B, 演習 I, 演習 II A, 演習 II B, 演習 II (4), 演習 III (4), ビジネスゲーム, 応用財務会計, 簿記の基礎, 会計入門, 演習 III (卒業論文) A, 演習 III (卒業論文) B, サマーセミナー(演習 II), スプリングセミナー(演習 I), スプリングセミナー(演習 II)

【 職・氏名 】	教授 根岸 毅宏 (NEGISHI Takehiro)
【 学位 】	博士(経済学) (2001年03月, 國學院大學, 経博甲第5号)
【 本学就任年月日 】	2003年04月01日
【 略 歴 】	國學院大學 経済学部 第2部経済学科 卒業 國學院大學 大学院 博士課程前期 経済学研究科 修了 國學院大學 大学院 博士課程後期 経済学研究科 満期退学
【 研究分野 】	財政学
【 所属学会 】	日本財政学会, 日本租税理論学会, 社会政策学会, 日本社会福祉学会, 日本地方財政学会, アメリカ学会
【 学外委員等活動 】	
【 受賞歴等 】	財団法人関科学技術振興記念財団 平成14年度(第9回)出版助成

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	アメリカの所得格差の拡大と所得再分配の動向	連合総研レポート	375	4～ 10, 7	公益財団法人連合総合生活開発研究所	2022年04月01日
著書等出版物	編著	『アクティブラーニングで学ぶ 日本の経済』			全219頁(165-182頁)	東洋経済新報社	2021年04月01日
講演・発表	単独	アメリカの2世代支援策 —その実態と福祉政策における位置づけ—	第72回秋季大会			日本社会福祉学会	2024年10月27日
講演・発表	単独	アメリカのもう一つの医療セーフティネット	第149回大会			社会政策学会	2024年10月20日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	アメリカのTANF現金扶助受給者を就労者へと移行する雇用プログラム	國學院経済学	第67巻 第1号	161～ 206, 45	国学院大学経済学会	2018年09月15日
論文	単著	アメリカの福祉における郡政府とNPOのパートナーシップ —バージニア州アーリントン郡を具体例に—	國學院経済学	第65巻 第3・4 合併号	1～53, 53	國學院大學経済学会	2017年03月25日
論文	単著	アメリカ福祉国家の緊急食料支援における民間主導の構造 —FAネットワークとその北バージニア地域の事例—	國學院経済学	第63巻 第2号	1～ 48, 48	國學院大學経済学会	2015年03月08日
著書等出版物	共著	『アメリカの分権と民間活用』			239(27～71)	日本経済評論社	2012年08月25日
著書等出版物	単著	『アメリカの福祉改革』			229	日本経済評論社	2006年11月20日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	アメリカ福祉国家の基本構造の研究:民間部門の主導性が強い福祉政策を中心に	日本学術振興会	根岸毅宏	15K11974	4290000	2015年04月01日～ 2018年03月31日
科研費	基盤研究(C)	アメリカの分権的な福祉再編とそれを根底から支える地域ネットワークの研究	日本学術振興会	根岸毅宏	22614006	3250000	2010年04月01日～ 2013年03月31日

担当授業科目

2024年度: 演習 I, 政策デザイン, 演習 III(卒業論文)A, 演習 II A, 公共部門と財政, 基礎演習 B, 演習 III(卒業論文)B, 演習 II B, 基礎演習 A

【 職・氏名 】	教授 野村 一夫 (NOMURA Kazuo)
【 学 位 】	文学修士
【本学就任年月日】	2001年04月01日
【 略 歴 】	創価大学 文学部 社会学科 卒業 創価大学 大学院 博士前期課程 文学研究科 修了 創価大学 大学院 博士後期課程 文学研究科 満期退学
【 研究分野 】	知識の社会理論, 役割理論, 社会学教育, メディアコミュニケーション, ダブルスタンダード, 医療社会学, ネット文化論, 大人論, メディア教育, 知の理論
【 所属学会 】	日本保健医療行動科学会, 日本社会学会, 日本社会学史学会
【学外委員等活動】	[過去5年間]大阪大学COデザインセンター 招へい教員(教授)
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
その他	単	「ジンメル解体、いったん、そして」	現代社会学理論研究	16	136-140,5	日本社会学理論学会	2022年04月01日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	「社会学を伝えるメディアの刷新」	『社会学評論』	232号	506～523	日本社会学会(発売有斐閣)	2008年03月31日
論文	単著	「ネットワーク時代における社会学教科書の可能性」	『フォーラム現代社会学』	第2号	6～13	関西社会学会発行、世界思想社発売	2003年05月01日
論文	単著	「健康の批判理論序説」	『法政大学教養部紀要』	第113・114号	1～27	法政大学	2000年02月01日
論文	単著	「ジンメルと役割理論—受容史的接近」	『社会学史研究』	第9号	64～82	日本社会学史学会	1987年06月01日
論文	単著	「社会的反省の理論としてのジャーナリズム論」	『新聞学評論』	第36号	29～41	日本新聞学会	1987年04月01日

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(B)	病気と健康の日常的概念に関する実証的研究	日本学術振興会	池田光穂	11470501	5900000	1999年度～2001年度

担当授業科目	
2024年度: 卒業レポート演習, 社会科学入門, 演習ⅡB, 演習Ⅲ(4), 演習Ⅲ(卒業論文)B, 演習ⅡA, 経済特別演習, 演習Ⅱ(4), 演習Ⅲ(卒業論文)A, 情報化社会と市民	

【 職・氏名 】	准教授 芳賀 英明 (HAGA Hideaki)
【 学 位 】	修士(経営学) (2011年03月31日,学習院大学,第4005号)
【本学就任年月日】	2022年04月01日
【 略 歴 】	文京学院大学 経営学部経営学科 卒業 学習院大学 大学院経営学研究科経営学専攻 博士前期課程 修了 学習院大学 大学院経営学研究科経営学専攻 博士後期課程 単位取得満期退学
【 研究分野 】	マーケティング, 消費者行動, デジタル経済
【 所属学会 】	日本マネジメント学会, 日本マーケティング学会, 日本消費者行動研究学会, 日本商業学会
【学外委員等活動】	[過去5年間]日本マネジメント学会 実・学一体推進特別委員, 日本消費者行動研究学会 幹事, 愛媛県消費生活審議会 委員
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	消費者のブランドとの結びつきにおける人間らしさの効果-アイデンティティにおける「個」と「関係性」に基づく検討-	経営論集	34, 1	1~26	文京学院大学	2025年03月
論文	共著	擬人化が自己とブランドの結びつきに及ぼす影響-自尊感情に着目した考察-	JSMDレビュー	4, 2	49~ 55	日本商業学会	2020年12月
論文	単著	購買行動に関わる自己とブランドの結びつきへの準拠集団の効果-所属集団対熱望集団-	経営教育研究	23, 2	43~ 52	日本マネジメント学会(旧日本経営教育学会)	2020年07月
著書等出版物	分担執筆	心理学から解き明かす消費者行動論			24(295~318)	創成社	2024年09月
講演・発表	単独	擬人化することは消費者とブランドとの結びつきを強くする?-自尊感情の視点から-	國學院大學経済学会研究会2022年度第2回			國學院大學経済学会	2022年07月13日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	準拠集団が消費者行動に及ぼす影響-自己とブランドの結びつきへの影響を中心に-	マーケティング・ジャーナル	35, 2	106~ 118	日本マーケティング学会	2015年09月
講演・発表	単独	ブランドとの関係性規範が消費者の「怒り」感情に与える影響	第59回消費者行動研究コンファレンス			日本消費者行動研究学会	2019年10月
講演・発表	単独	青年期におけるアイデンティティ発達と購買行動に関わる自己とブランドの結びつきとの関連-情報提示における擬人化性に着目して-	日本発達心理学会第30回大会			日本発達心理学会	2019年03月
講演・発表	単独	消費者の自己とブランドの結びつきに対して準拠集団が与える影響-関係性の文脈における自己に関わる動機の活性化に注目して-	第47回消費者行動研究コンファレンス			日本消費者行動研究学会	2013年10月
講演・発表	単独	消費者の自己とブランドの結びつきに対して準拠集団が与える影響に関する一考察	第45回消費者行動研究コンファレンス			日本消費者行動研究学会	2012年12月

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
特別研究助成		準拠集団による擬人化されたブランドの採用が自己とブランドの結びつきに及ぼす影響	松山大学	芳賀英明		500000	2019年04月~2020年03月

担当授業科目

2024年度: 基礎演習A、基礎演習B、マーケティングリサーチ、演習Ⅲ(卒業論文)A、演習Ⅲ(卒業論文)B、演習Ⅰ、演習ⅡA、演習ⅡB、演習Ⅱ(4)、演習Ⅲ(4)、ビジネスリサーチ、データ分析の手法Ⅱ、ビジネスゲーム

【 職・氏名 】	准教授 濱田 高彰 (HAMADA Takaaki)
【 学 位 】	博士(経済学) (2023年11月15日, 東京大学, 博経第433号)
【本学就任年月日】	2024年04月01日
【 略 歴 】	神戸大学 経済学部 卒業 東京大学 大学院経済学研究科 修士課程 修了 東京大学 大学院経済学研究科 博士課程 単位取得後退学
【 研究分野 】	ゲーム理論/行動経済学
【 所属学会 】	日本経済学会
【学外委員等活動】	
【 受賞歴等 】	兼松賞(神戸大学経済経営研究所) (2019年06月), 白木賞(神戸大学経済学部最優秀卒業論文賞) (2013年03月)

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ~終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	Endogenous timing in tax competition: The effect of asymmetric information	Journal of Public Economic Theory	25, 3	570~ 614, 45	Wiley	2023年06月
論文	共著	Risks on Others	RIEB, DP2020-23		56	Kobe university	2020年08月
論文	単著	Implications of the Tradeoff between Inside and Outside Social Status in Group Choice	arXiv		17	Cornell University	2020年08月
著書等出版物	単著	顕示的消費と競争回避財の役割			79	三菱経済研究所	2021年03月
講演・発表	単独	Conspicuous Consumption and Excuse Device	経済学・ゲーム理論セミナー(東京理科大学)			東京理科大学 経営学部ビジネスエコノミクス学科	2023年05月

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ~終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
講演・発表	共同	Risks on Others	The 23th Experimental Social Science Conference (Tokyo)			明治学院大学 経済学部	2019年12月
講演・発表	単独	Conspicuous Consumption and Excuse Device	厚別経済学研究会(北星学園大学)			北星学園大学 経済学部	2019年08月
講演・発表	単独	Welfare-Improving Asymmetric Information in an Endogenous Timing Game of Tax Competition	兼松賞受賞論文発表会(神戸大学)			神戸大学経済経営研究所	2019年06月
講演・発表	単独	Personality Heterogeneity in Team	Econometric Society Asian Meeting (Korea)			Econometric Society	2018年06月
講演・発表	単独	The Effect of Inside and Outside Reputations on Group Choice and Effort	Econometric Society Asian Meeting (Hong Kong)			Econometric Society	2017年06月

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
助成金	若手研究者奨励金	顕示的消費と競争回避財の役割	日本私立学校振興・共済事業団	濱田高彰		400000	2022年04月~2023年03月
科研費	特別研究員奨励費	非金銭的インセンティブと社会的行動に関する理論的・実験的研究	日本学術振興会	濱田高彰	17J07819	1900000	2017年04月~2019年03月

担当授業科目

2024年度: 行動経済学, ミクロ経済 I, 経済理論入門, 演習 I, 演習 II A, 演習 II B, 基礎演習 A, 基礎演習 B, ゲーム理論

【 職・氏名 】	教授 林 行成 (HAYASHI Yukinari)
【 学 位 】	修士(経済学) (2000年03月28日,一橋大学)
【本学就任年月日】	2024年04月01日
【 略 歴 】	一橋大学 大学院経済学研究科 修士課程 修了 一橋大学 大学院経済学研究科 博士後期課程 単位取得後退学
【 研究分野 】	医療経済学
【 所属学会 】	日本医療・病院管理学会, 日本経済学会, 日本医療経営学会 理事, 医療経済学会, 日本医療マネジメント学会 評議員
【学外委員等活動】	〔過去5年間〕全国健康保険協会広島支部 健康づくり推進協議会, 広島赤十字・原爆病院 地域医療支援病院運営委員会委員, 広島県看護協会 将来構想検討委員会委員, 広島県 高度医療・人材育成拠点の運営形態のあり方検討会 委員, 日本学術振興会 科学研究費委員会専門委員
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	共著	医療の公共性と公的供給に関する経済学的考察	HIU健康科学ジャーナル	3	25～38	広島国際大学	2024年03月
論文	共著	診療報酬制度:インセンティブ構造からの分析	社会保障法研究	18	141～187	信山社	2023年10月
論文	共著	薬価基準制度がもたらすインセンティブ構造—総額管理手法を見据えて—	社会保障法研究	18	189～223	信山社	2023年10月
論文	単著	医療機関の共同購入と薬価基準制度	医療経営学論叢	14	29～40	広島国際大学	2021年04月

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	共著	医療用医薬品流通における交渉力と薬価基準制度	Studies in Applied Economics 応用経済学研究	8	115～127	日本応用経済学会	2015年
論文	共著	医療経営における成果主義的報酬システムの検討	日本医療経営学会誌	7, 1	15～22	日本医療経営学会	2013年
論文	共著	公共的活動におけるモラル・モチベーション	経済研究	61, 4	1～19	岩波書店	2011年
論文	単著	医療の機能分化に関する厚生経済分析	医療経済研究	22, 1	79～90	医療経済学会	2010年
著書等出版物	共著	医療経済学15講(ライブラリ経済学15講APPLIED編)			290	新世社	2018年11月01日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	公立病院による地域医療への貢献度に関する実証分析—非財務指標を用いた評価—	日本学術振興会	景山 愛子	23K01718	4810000	2023年04月01日～ 2027年03月31日
科研費	基盤研究(C)	イノベーションの創出と普及に関する競争と保護の関係の解明	日本学術振興会	丹野 忠晋	22K01466	4160000	2022年04月01日～ 2027年03月31日
科研費	基盤研究(C)	公立病院改革と地域医療の経済分析	日本学術振興会	林 行成	JP21K01554	2080000	2021年04月01日～ 2024年03月31日

担当授業科目

2024年度: 医療の経済, 経済理論入門, 基礎演習A, 基礎演習B, 演習 I, 演習 II A, 演習 II B, 演習 II(4), 経済経営数学入門

【 職・氏名 】	教授(特別専任) 原 省三 (HARA Shozo)
【 学 位 】	学士(法学) (1985年03月,早稲田大学)
【本学就任年月日】	2023年04月01日
【 略 歴 】	早稲田大学 法学部 卒業
【 研究分野 】	法人税、国際課税、租税争訟
【 所属学会 】	
【学外委員等活動】	
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	「公正処理基準に関する一考察～最近の我が国の企業会計制度の変容を踏まえて～」	税務大学校論叢	58	245～ 309	税務大学校	2008年06月20日
論文	単著	「公正処理基準と通達との関係についての一考察～東京地裁平成19年1月31日判決を契機として～」	税大ジャーナル	6	88～ 118	税務大学校	2007年11月01日
論文	単著	「国際課税のあり方と今後の課題について～最近の国際課税に関する諸問題(国際的租税回避等)を踏まえた我が国の国際課税の基本的な考え方の検証～」	税務大学校論叢	54	545～ 589	税務大学校	2007年07月04日
論文	単著	「棚卸資産の評価に関する会計基準と法人税法の調整の可能性」	税務大学校論叢	56	179～ 229	税務大学校	2007年07月04日
論文	単著	「法人税法と商法、企業会計の相互関係と今後調整すべき課題について」	税務大学校論叢	51	449～ 507	税務大学校	2006年06月28日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

担当授業科目

2024年度: 会計入門, 簿記の基礎, 企業法, 基礎演習A

【 職・氏名 】	准教授 藤山 圭 (FUJIYAMA Kei)
【 学 位 】	修士(経営学)
【本学就任年月日】	2016年04月01日
【 略 歴 】	一橋大学 商学部 卒業 一橋大学 大学院商学研究科 経営学修士コース 修了 一橋大学 大学院商学研究科 博士後期課程 満期退学
【 研究分野 】	経営戦略論・イノベーションマネジメント
【 所属学会 】	組織学会会員, 日本経営学会会員, 一橋商学会会員
【学外委員等活動】	
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	共著	「クラスサイズが異なる授業の構成比率に関する一考察」	『國學院経済学』	73, 2	93-112	國學院大學経済学会	2025年03月
論文	共著	「教育目標と授業形態の対応関係ーケースメソッド教育の位置づけ確認のための準備的考察ー」	『國學院経済学』	73, 2	1~28	國學院大學経済学会	2025年03月
Misc	共著	「ビジネスケース:映画制作会社としてのNetflix」	『國學院経済学』	73, 1	1~ 30	國學院大學経済学会	2024年09月
Misc	共著	「ビジネスケース:プリントシール機業界の競争 アトラスとフリー」	『國學院経済学』	72, 2	25~ 43	國學院大學経済学会	2024年03月30日
講演・発表	単独	「ブランド・コミュニティの発展と変化ーゲーム・コミュニティのエスノグラフィを通じてー」	國學院大學経済学会研究会			國學院大學経済学会	2022年11月30日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	「イノベーターは誰かーデジタル・プロジェクトの普及プロセスを事例としてー」	『國學院経済学』	67, 2	289~ 309	國學院大學経済学会	2019年03月25日
論文	単著	「VPFビジネス・スキームに関する論点の整理」	『國學院経済学』	66, 1	29~ 50	國學院大學経済学会	2018年01月25日
論文	単著	「事業開発スタンスが経営成果に与える影響ー逆浸透膜産業を事例にー」	『日本経営学会誌』	No.35	28~ 40	日本経営学会	2015年07月10日
論文	単著	「日東電工ー逆浸透膜産業における逆転のプロセスー」	『一橋ビジネスレビュー』	62(4)	126~ 141	一橋大学	2015年03月26日
著書等出版物	単著	「エルピーダメモリ ニッチマーケットへの集中と強みの再定義」	『戦略分析ケースブック』		37~ 66	沼上幹+一橋MBA戦略ワークショップ	2011年12月29日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

担当授業科目

2024年度: 基礎演習A, 基礎演習B, 演習 I, 演習II(4), 演習IIA, 演習IIB, 演習III(4), 演習III(卒業論文)A, 演習III(卒業論文)B, 経営入門, 経営戦略, イノベーションマネジメント, サマーセミナー(演習 I), サマーセミナー(演習II), スプリングセミナー(演習 I)

【 職・氏名 】	教授 星野 広和 (HOSHINO Hirokazu)
【 学 位 】	博士(経営学) (2003年03月,東北大学,経博(経営)第7号)
【本学就任年月日】	2008年04月01日
【 略 歴 】	東北大学 経済学部 卒業 東北大学 大学院経済学研究科経営学専攻 博士課程前期 修了 東北大学 大学院経済学研究科経営学専攻 博士課程後期 修了
【 研究分野 】	経営管理論、経営組織論、経営戦略論
【 所属学会 】	日本経営学会, 経営学史学会, Academy of Management
【学外委員等活動】	
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	「なぜ経営学では小倉昌男とヤマト運輸を学ぶのか」	『國學院経済学』	第72巻 第1号	15～40	國學院大學経済学 会	2023年09月30日
論文	単著	「イノベーションの停滞と製品不具合に関する一考察:自動車用エアバッグの技術進化のケース」	『國學院経済学』	第69巻 第2号	22～44	國學院大學経済学 会	2021年03月31日
著書等出版物	分担執筆	『生産性のマネジメント—付加価値向上への進化—』(経営学史叢書第Ⅱ期②生産性)			(42-66)	文眞堂	2022年05月31日
講演・発表	単独	「製品リコールを通じた組織学習—組織外-自発的学習の有効性に関する一考察—」	日本経営学会第95回 大会(同志社大学)				2021年09月04日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	「製品リコールを通じた組織学習—組織外-自発的学習の有効性に関する一考察—」	『國學院経済学』	第68巻 第2号	1～23	國學院大學経済学 会	2020年03月31日
論文	単著	「ものづくり環境の変化と製品品質マネジメントの整合性」	『國學院経済学』	第66巻 第2号	149～174	國學院大學経済学 会	2018年03月31日
論文	単著	「デミング理論の基本的特質と限界に関する一考察—ドラッカーの経営思想との比較を通じて—」	『甲南経営研究』	第57巻 第1号	39～69, 234	甲南大学経営学会	2016年11月01日
論文	単著	「PDCAサイクルはデミング・サイクルか?—Deming, Shewhart, Juranの管理サイクル論に関する一考察—」	『國學院経済学』	第59巻 第1号	39～83, 154	國學院大學経済学 会	2010年10月25日
論文	単著	「品質管理に関する経営戦略的考察—CSR戦略の中核として—」	研究年報『経済学』	第68巻 第4号	143～158	東北大学経済学会	2007年03月31日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	製品事故・リコール情報の収集・処理・伝達・学習プロセスに関する経営学的研究	日本学術振興会	星野 広和	17K03892	1690000	2017年04月01日～ 2022年03月31日
科研費	基盤研究(C)	中小企業の経営革新と創業に対するフランチャイズの有効性の検証	日本学術振興会	小島 正稔	18530301	3470000	2006年度～2008年 度

担当授業科目

2024年度: 基礎演習A, 演習Ⅰ, 演習ⅡA, 演習ⅡB, 演習Ⅱ(4), 演習Ⅲ(4), 演習Ⅲ(卒業論文)A, 演習Ⅲ(卒業論文)B, 経営管理, 卒業レポート演習, 経営入門

【 職・氏名 】	教授 細井 長 (HOSOI Takeru)
【 学 位 】	博士(経営学) (2004年03月,立命館大学,博甲第308号)
【本学就任年月日】	2006年04月01日
【 略 歴 】	立命館大学 国際関係学部 国際関係学科 退学 立命館大学 大学院 博士課程前期 国際関係研究科 修了 立命館大学 大学院 博士課程後期 経営学研究科 修了
【 研究分野 】	国際経済学、中東地域経済
【 所属学会 】	日本中東学会, 日本国際経済学会
【学外委員等活動】	〔過去5年間〕日本国際経済学会 理事
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	カタール危機の経済的影響-貿易 面から見た経済制裁の成否-	國學院経済学	第72巻 第1号	41～ 64, 24	國學院大學経済学 会	2023年09月30日
Misc	単著	書評 妹尾裕彦・田中綾一・田島陽 一編『地球経済入門 人新世の世 界をとらえる』	経済	第316 号 (2022 年1月 号)	100～ 101, 2	新日本出版社	2022年01月01日
著書等出版物	単著	中東の経済学			191	株式会社カンゼン	2024年06月12日
著書等出版物	共著	Oil Market and Supply: From the Perspective of Japan's Energy Policy			(207-241)	Palgrave macmillan	2023年03月
講演・発表	単独	エネルギー供給地としての中東:脱 炭素社会への対応と世界経済への 影響	日本国際経済学会第 82回全国大会			日本国際経済学会	2023年10月15日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	湾岸諸国における産業政策として の政府系企業育成	國學院経済学	第68巻 第2号	25～ 52	國學院大學経済学 会	2020年03月25日
論文	単著	オープンスカイ協定を巡る米国と中 東の対立	國學院経済学	第67巻 第1号	207～ 227	國學院大學経済学 会	2018年09月25日
著書等出版物	共著	サウジアラビアを知るための63章			400	明石書店	2015年07月30日
著書等出版物	編著	アラブ首長国連邦(UAE)を知るた めの60章			337	明石書店	2011年03月18日
著書等出版物	単著	中東の経済開発戦略			234	ミネルヴァ書房	2005年03月01日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

担当授業科目

2024年度:基礎演習A, 国際経済, 演習Ⅲ(卒業論文)B, 国際経営, 演習ⅡA, 世界経済入門, 演習Ⅰ, 基礎演習B, 世界経済入門, 演習ⅡB, 演習Ⅲ(卒業論文)A

【 職・氏名 】	教授 細谷 圭 (HOSOYA Kei)
【 学 位 】	博士(経済学) (2003年03月,一橋大学,経博第27号)
【本学就任年月日】	2017年04月01日
【 略 歴 】	東北学院大学 経済学部 経済学科 卒業 一橋大学大学院 経済学研究科経済理論・経済統計専攻 修士課程 修了 一橋大学大学院 経済学研究科経済理論・経済統計専攻 博士後期課程 修了
【 研究分野 】	マクロ経済学、公共経済学
【 所属学会 】	日本経済学会, 日本経済政策学会, 日本地域学会
【学外委員等活動】	[過去5年間]独立行政法人経済産業研究所(RIETI) プロジェクトメンバー, 学習院大学経済経営研究所(GEM) 客員所員
【 受賞歴等 】	第33回日本地域学会賞著作賞(2024年10月05日)

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ~終了ページ,ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	Endogenous Time Preference and Infrastructure-led Growth with an Unexpected Numerical Example	Portuguese Economic Journal	Vol. 23 Issue 1	3-32	Springer Nature	2024年01月22日
論文	単著	The Effects of Patience in a Growth Model with Infrastructure and a Related Externality	Modern Macroeconomics with Historical Perspectives (Takahashi, S., M. Yanagihara, K. Hosoya, and T. Shinozaki [eds.])		87-106	Springer Nature	2023年09月16日
論文	単著	Impact of Infectious Disease Pandemics on Individual Lifetime Consumption: An Endogenous Time Preference Approach	Journal of Macroeconomics	Vol. 76	103506	Elsevier	2023年06月01日
論文	単著	内生的な時間選好と持続的成長および持続的発展:展望	フィナンシャル・レビュー	第150号	93-116	財務省・財務総合政策研究所	2022年12月22日
著書等出版物	共著	ベーシック+日本経済論(第2版)			272	中央経済社	2021年02月17日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ~終了ページ,ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	Importance of a Victim-Oriented Recovery Policy after Major Disasters	Economic Modelling	Vol. 78	1-10	Elsevier	2019年05月01日
論文	単著	Accounting for Growth Disparity: Lucas's Framework Revisited	Review of Development Economics	Vol. 21 Issue 3	874-887	Wiley	2017年08月01日
論文	単著	Recovery from Natural Disaster: A Numerical Investigation Based on the Convergence Approach	Economic Modelling	Vol. 55	410-420	Elsevier	2016年06月01日
論文	単著	Public Health Infrastructure and Growth: Ways to Improve the Inferior Equilibrium under Multiple Equilibria	Research in Economics	Vol. 68 Issue 3	194-207	Elsevier	2014年09月01日
著書等出版物	共訳	ケインズ全集第14巻 一般理論とその後:第II部 弁護と発展			676	東洋経済新報社	2016年01月01日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
研究奨励金		COVID-19パンデミックが経済社会に及ぼす影響に関する実証研究	公益社団法人 日本経済研究センター	細谷 圭		790000	2022年4月~2024年3月
科研費	基盤研究(C)	COVID-19等の経済的ネガティブイベントと時間選好率との関係性の探究	日本学術振興会	細谷 圭	21K01507	3770000	2021年04月01日~2026年03月31日
科研費	基盤研究(C)	複数均衡モデルを基礎とした震災後の長期経済動学の考察	日本学術振興会	細谷 圭	15K03448	3900000	2015年04月01日~2020年03月31日

担当授業科目

2024年度: マクロ経済Ⅰ, マクロ経済Ⅱ, 基礎演習A, 基礎演習B, 演習Ⅰ, 演習Ⅱ(4), 演習Ⅲ(4), 演習ⅡA, 演習ⅡB, 演習Ⅲ(卒業論文)A, 演習Ⅲ(卒業論文)B

【 職・氏名 】	教授 水無田 気流 (MINASHITA Kiriu)
【 学 位 】	修士(学術)、修士(哲学)
【本学就任年月日】	2016年04月01日
【 略 歴 】	早稲田大学 大学院社会科学研究所地球社会論専攻 修士課程 修了 中央大学 大学院文学研究科哲学専攻 修士課程 修了 早稲田大学 大学院社会科学研究所地球社会論専攻 博士後期課程 満期退学
【 研究分野 】	文化社会学、家族社会学、ジェンダー論
【 所属学会 】	経済社会学会、障害学会、日本家族社会学会、日本社会学会、日本女性学会、日本女性学会
【学外委員等活動】	〔過去5年間〕NPO法人子育てコンビニ、株式会社TBSテレビ番組審議会、渋谷区 渋谷区男女平等・多様性社会推進会議委員、中原中也の会、日本文藝家協会、一般社団法人交通環境整備ネットワーク
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	「ダイバーシティ(多様性)概念の歴史の変遷についての一考察	國學院経済学	69, 2	1～ 21, 20	國學院大學経済学会	2021年03月25日
著書等出版物	共著	「郊外」から考える～「家族」と「幸福」の物語～			139～177	亜紀書房	2023年08月04日
著書等出版物	単著	『多様な社会はなぜ難しいか 日本の「ダイバーシティ進化論』			288	日経BP・日本経済新聞出版本部	2021年04月23日
著書等出版物	単著	『背表紙の社会学』			254	青土社	2020年11月20日
著書等出版物	単著	『「居場所」のない男、「時間」がない女』			274	ちくま文庫	2020年05月10日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	日本のジェンダー規範とメディアの役割についての一考察——象徴的排除生成の要因分析を軸に	『経済社会学会年報』	vol.41	121～132	現代書館	2019年09月30日
論文	単著	「書かれた女性の『美』と『身体』」	『女性学』	vol.21	9～ 25	新水社	2014年03月01日
論文	単著	「身体経験の変容と消費文化—ゲーム、メディア、コミュニケーション」	『経済社会学会年報』XXIV	XXXV	145～ 153	現代書館	2012年09月01日
論文	単著	「消費市場における性規範の二重構造:ポストモダン状況下の文化社会的攪乱を軸に」	『経済社会学会年報』XXXIII	XXXIII	140～ 150	現代書館	2011年09月01日
著書等出版物	単著	『シングルマザーの貧困』			262	光文社	2014年11月01日

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	現代日本の家族生活と労働システムの相互性に関する研究:英国との比較から	日本学術振興会	品田 知美	15K03819	4550000	2015年04月01日～2019年03月31日

担当授業科目	
2024年度: 社会科学入門, ジェンダーと経済, 経済と社会参加, こころとからだのリテラシー(身体文化論), 日本の経済, 演習 I, 演習 II A, 演習 II B, 演習 III (卒業論文) 演習 III (卒業論文) B, 卒業レポート演習	

【 職・氏名 】	教授 宮下 雄治 (MIYASHITA Yuji)
【 学位 】	博士(経済学) (2017年07月, 國學院大學, 経乙第13号)
【 本学就任年月日 】	2013年04月01日
【 略 歴 】	駒澤大学 文学部英米文学科 卒業 明治学院大学 大学院経済学研究科 博士前期課程 修了 東京大学 大学院総合文化研究科 博士後期課程 中途退学
【 研究分野 】	マーケティング、デジタル経済、流通システム
【 所属学会 】	日本マーケティング学会, 経営行動研究学会, 日本産業経済学会, 日本商業学会
【 学外委員等活動 】	[過去5年間] 日本フランチャイズチェーン協会 スーパーバイザー学校講師 (経営士講座講師兼、マーケティング担当)
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	「顧客リテンションの展開と効果」	『産業経済研究』	第25号	21～ 30, 10	日本産業経済学会	2025年03月31日
著書等出版物	単著	『こうして顧客は去っていくーサイレントカスタマーをつなぎとめるリテンションマーケティングー』			1～278	日本実業出版社	2024年02月16日
著書等出版物	単著	『新時代のマーケティングーデジタル経済を動かすキーワードー』			2～230	八千代出版	2023年10月03日
著書等出版物	単著	『米中先進事例に学ぶ マーケティングDX』			3～229	すばる舎	2022年03月12日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	「日本型オープンイノベーションの実践的展開に関する考察」	『國學院経済學』	第66巻第1号	1～ 27	國學院大學経済学会	2018年02月01日
論文	共著	「パナソニックの「脱プロダクトアウト」に向けた共創型プロジェクト:ー JコンCEPTの事例研究ー」	『マーケティングジャーナル』	36, 3	98～ 115	日本マーケティング学会	2017年
論文	単著	「消費税率引き上げによる日本経済と大学生の消費マインドへの影響」	『國學院大學紀要』	第53巻	20	國學院大學	2015年01月15日
論文	単著	「技術の市場化に向けたマーケティングの進化」	『産業経済研究』	第14号	63～ 76, 108	日本産業経済学会	2014年04月10日

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

担当授業科目	
2024年度: 演習 I, 演習 II A, 演習 II B, 演習 II (4), 演習 III (4), 演習 III (卒業論文) A, 演習 III (卒業論文) B ※派遣研究期間のため上記担当演習科目のみ(専門科目なし)	

【 職・氏名 】	教授 山本 健太 (YAMAMOTO Kenta)
【 学位 】	博士(理学) (2009年03月,東北大学,理博第2516号)
【本学就任年月日】	2014年04月01日
【 略 歴 】	静岡大学 教育学部学校教育教員養成課程 教科教育学専攻 卒業 東北大学大学院 理学研究科博士課程前期 地学専攻 修了 東北大学大学院 理学研究科博士課程後期 地学専攻 修了
【 研究分野 】	経済地理学、都市地理学
【 所属学会 】	東北地理学会, 日本地理学会, 経済地理学会, 地理科学学会, 人文地理学会, 外邦図研究会, 人文地理勉強会, 日本都市学会, 地理空間学会, 日本都市地理学会, 日本地理教育学会
【学外委員等活動】	[過去5年間] Asian Geographical Association 日本代表評議員, 経済地理学会 渉外委員会委員, 東北地理学会 幹事, 日本地理学会 交流専門委員副委員長, 日本地理学会 企画専門委員会委員, Japan-Korea-China Joint Conference on Geography 常任委員会委員
【 受賞歴等 】	地理空間学会奨励賞(2011年), 東北地理学会研究奨励賞(2009年), 平成20年度東北大学総長賞(2008年)

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	共著	東京都におけるヘアサロンの集積と特徴—検索・予約サイト掲載情報の分析から—	E-Journal GEO	17	82～92	日本地理学会	2022年05月01日
論文	単著	島根県西部地域における石見神楽の存立構造	國學院大學紀要	59	29～49, 21	國學院大學	2021年02月
著書等出版物	編著	地理がわかれば世界がわかる! すごすぎる地理の図鑑			175	KADOKAWA	2023年05月18日
著書等出版物	分担執筆	Management Geography -Asian Perspectives Focusing on Japan and Surrounding Regions			237(133-155)	Springer	2022年09月27日
講演・発表		Professional consciousnesses and spatial selections of hairdressing school students	16th China-Japan-Korea Joint Conference on Geography			Organizing Committee of 16th China-Japan-Korea Joint Conference on Geography	2024年10月

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	共著	東京における美容師のキャリアパス	都市地理学	19	59～68	都市地理学会	2024年03月15日
論文	単著	大都市の創造性とアニメーションスタジオの役割:労働者の働き方とネットワークに着目して	都市地理学	13	37-47	都市地理学会	2018年04月01日
論文	単著	Traditional Performing Arts as a Regional Resource: Examining Japan's Kagura Dance Form	International Journal of Cultural and Digital Tourism	5	24～40, 16	IACuDiT	2018年
著書等出版物	監修	現地取材! 日本の国土と人々の暮らし		全8巻		ポプラ社	2023年12月07日
著書等出版物	単著	The Agglomeration of the Animation Industry in East Asia			163	Springer	2014年08月01日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	わが国縁辺地域における伝統芸能の現在	日本学術振興会	山本健太	17K03256	3900000	2017年04月01日～ 2022年03月31日
科研費	若手研究(B)	演劇産業の消費者行動と大都市集積に関する地理学的研究	日本学術振興会	山本健太	26770288	2730000	2014年04月01日～ 2016年03月31日
科研費	基盤研究(A)	未利用の海外所在東アジア近代地理資料の集成と活用	日本学術振興会	小林茂	24240115	32630000	2012年10月31日～ 2016年03月31日

担当授業科目

2024年度:基礎演習A,演習I,演習II A,経済地理,地域政策,基礎演習B,演習III(卒業論文)A,演習III(卒業論文)B,演習II B,地域と都市の経済,演習III(4),演習II(4)